

アフターコロナに向けた 特別研究プロジェクト始動!

九州産業大学では、新型コロナウイルス感染症の拡大が与える経済や産業、社会などの様々な変化を予見し、終息後の各分野における展望やとるべき方策を考える、アフターコロナを見据えた対応策の提言や課題を解決する研究プロジェクトを9月より開始いたしました。

新型コロナウイルスの猛威が、広範囲かつ長期にわたるにつれ、社会・経済活動に与える影響が大きくなっている現状を踏まえ、短期的な危機対応策に留まらず、終息後にとるべき方策について検討するため、本学の「学術研究推進機構」および「産業経営研究所」が中心となって研究テーマを公募したプロジェクトで、

「社会提言などアフターコロナを見据えた対応策を提言する研究」 「アフターコロナに向けた人文学的、社会学的、自然科学的手法の提案」

という対象研究に寄せられた15の研究テーマにつき、新たに特別の研究費を設け支援を行います。

(産業・経済活動全般)

- 「一日も早い復興」の環境・資源経済分析 経済学部 澤田 英司 准教授
- アフターコロナにおける製造業のサービタイゼーション戦略設計 経済学部 砂口 洋毅 教授
- With/Afterコロナ時代における物流政策の方向性 商学部 魏 鍾振 准教授
- アフターコロナにおける望ましい医療システムの情報公開 商学部 浅川 哲郎 教授

(観光に関する研究)

- アフターコロナにおける九州観光のあり方 地域共創学部 大方 優子 教授
- 離島における「訪れない観光」の実証的研究 地域共創学部 行平 真也 講師

(地域・自治体・健康に関する研究)

- コロナ禍からアフターコロナの子どものメンタルケア支援 芸術学部 真島 猛 教授
人間科学部 窪田 由紀 教授
- eスポーツ実施を通じた地域高齢者の認知症予防 人間科学部 磯貝 浩久 教授
西園 秀嗣 教授
健康スポーツ科学センター 阪田 俊輔 助教
本山 清喬 助教
- New Neighborhood 「新しいネイバーフッド」 Stay Home からStay Neighborhood : 近所を拠点にした経済活動・社会活動とその新しい空間について 建築都市工学部 福山 秀親 教授
- 小規模自治体における住民意識・定住行動の変化と地方創生戦略への影響と課題 ~福岡県広川町住民意識調査を通じた事例研究~ 地域共創学部 山下 永子 教授
- アフターコロナに向けた地域公共交通のための運行管理支援の取組み 理工学部 稲永 健太郎 教授
末吉 智奈佐 助手

(働き方に関する研究)

- 働き方の多様化と社会保障格差に関する研究 経済学部 萱沼 美香 教授
- コロナ禍が働き方改革に及ぼす影響に関する事例研究 商学部 木村 隆之 准教授

(社会インフラに関する研究)

- メンテナンスフリーな水害検知システムの構築 理工学部 松下 大介 教授

(教育法に関する研究)

- 国際的で高度な建築都市工学を学ぶためのWEBサイト教材コンテンツの開発 建築都市工学部 香川 治美 准教授
羽田野 袈裟義 教授
日高 圭一郎 教授



よかところ93

令和二年
秋 号
Vol.12

学びの秋、到来!

よかところ93(きゅうさん)とは?

九州産業大学は地域に根ざした「地域密着型大学」を目指しており、地域の方々に本学を身近に感じていただくことを目的に、年に4回発行する季刊誌です。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら実施中!

特に社会人の方、必見!

教養講座は裏面に記載

リカレント講座

11/14[土]

13:00-15:00
1号館7F N702教室

「SDGsの世界観を分かりやすく体験する」

SDGsは、なぜ必要だと言われているのでしょうか。SDGsがあることによってどのような可能性があるのかを楽しくカードゲームで学びます。

定員：20名(先着順)

受講料：1,000円

講師：学生部 学生課 一ノ瀬 大一 係長

11/28[土]

13:00-15:00
1号館7F N702教室

「SDGsと持続可能(住みやすい)なまちづくりをシミュレーションする」

東京一極集中などの人口問題で地方消滅の危機が叫ばれる中、地方創生という言葉がよく耳にするようになりました。持続可能な社会を築くために、SDGsをどのように取り入れていく必要があるのかを楽しくカードゲームで学びます。

定員：20名(先着順)

受講料：1,000円

講師：学生部 学生課 一ノ瀬 大一 係長

SDGsとは・・・??



世界が抱える様々な問題を2030年までに解決するために作られた

17の「持続可能な開発目標」です。誰一人取り残さない社会の実現に向けて、

日本政府をはじめ、地方行政、企業、教育機関等が積極的に取り組みを推進しており、

現在では世界の共通言語として広く認知されています。

お申し込みはこちら

公開講座
申込みフォーム



九州産業大学
総務部 学外連携課(廣瀬)

〒813-8503 福岡市東区松香台2丁目3番1号

TEL: 092-673-5495 FAX: 092-673-5599

E-mail: gakugairenkei@ml.kyusan-u.ac.jp

【お問い合わせ先】

〒813-8503 福岡市東区松香台2丁目3番1号

TEL: 092-673-5495 FAX: 092-673-5599

E-mail: gakugairenkei@ml.kyusan-u.ac.jp

必ず、カタチにしてみせる。

九州産業大学

KYUSHU SANGYO UNIVERSITY

九州産業大学造形短期大学部

KYUSHU SANGYO UNIVERSITY, ZOKEI JUNIOR COLLEGE OF ART AND DESIGN

ご意見・ご感想を
お待ちしております。

教養講座

11/21[土]

10:30-12:00
九州産業大学内

「元号“令和”と大宰府～『万葉集』の世界～」

定員：50名（先着順）
受講料：500円
講師：基礎教育センター 田中 真理 講師



元号「令和」の典故となった『万葉集』の作品を、音読しながら学びましょう。
「梅花の歌三十二首并（あは）せて序」について、大宰府の政治的な役割や、中国文学の影響等に触れながら解説します。

12/5[土]

12[土]

19[土]

10:30-12:00
九州産業大学内

「歴史と文学」

1. 細川ガラシャの描き方

明智光秀の娘であり、細川忠興の妻である細川ガラシャは古今東西の文学作品にさまざまに描かれてきました。そのような作品を紹介しながら、ガラシャ像の由来について探ってまいりましょう。

2. 千利休の描き方

歴史上の事件、謎の一つに秀吉による利休切腹があります。その理由をめぐって描かれた作品を紹介しながら、秀吉と利休の確執、葛藤に私たちは何を見出してきたのかをご一緒に考えましょう。

3. 宮本武蔵の描き方

宮本武蔵はコミックにも取り上げられ、誰も知る歴史上の人物です。剣豪・剣聖の武蔵像を定着したのは吉川英治ですが、それに対抗する作品もあります。多様な武蔵について見てまいりましょう。

定員：50名（先着順）
受講料：2,000円（全3回分）
講師：人間科学部 子ども教育学科 上出 恵子 教授



公開講座
申込みフォーム



教養講座

「命を繋ぐ防災・減災」

九州産業大学公式YouTubeチャンネルにて配信中！

防災の第一歩

～何からはじめ、
どう広げるか？～

商学部 経営・流通学科
間間理 教授



災害大国といわれる日本では、実に様々な災害が起こっています。それだけに「防災」のあり方も様々で、何からどう始めたらいいのか迷う方も多いかと思いますが、本講座でその第一歩を考えてみませんか。



動画は
こちら

九州産業大学
公式YouTubeチャンネル

応急仮設住宅の 住みやすさ

建築都市工学部
住居・インテリア学科
香川 治美 准教授



応急仮設住宅の役割とは、その場しのぎではなく、被災者が生活の拠点を確保できるようになることではないでしょうか。被災地の居住環境調査から、他人事では済まされない被災について学びます。

心の減災

～災害後の心理的被害の
緩和のために今、
できること・すべきこと～

人間科学部 臨床心理学科
窪田 由紀 教授



本講座では、大きな災害に遭遇した際の生じる心理的影響について理解と適切に対処するスキルを予め学ぶことで、災害時に生じる心理的被害を減らす「心の減災」についてお話しします。

2020年 9/26[土]

「海ごみゼロ活動」で海の豊かさを守ろう！

～スポーツ学生が名島海岸で
清掃ボランティアをしました～

14 海の豊かさを守ろう



「海ごみゼロ活動」とは？
環境省と日本財団が
共同で「海ごみゼロ」を
合言葉に全国的に推進して
いる海洋ゴミの
清掃活動です。

参加者
学生37人
・サッカー部
・学生会執行部
・空手道部
・準硬式野球部
教職員5人
計42人

「海ごみゼロ活動」の一環として、名島海岸の清掃ボランティアを実施しました。世界中で増え続ける海洋ごみの問題。2050年にはプラスチックをはじめとする海洋ごみの量が、魚の量より多くなるとも言われており、海洋生物、生態系を含めた海洋環境、船舶航行や観光・漁業への影響が懸念されています。

加えて、SDGsのゴール14「海の豊かさを守ろう」のターゲットの1つとして「2025年までに、海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する」が掲げられています。

当日は、新型コロナウイルス感染予防に努めた上で、多くの海ごみを手作業で集めました。

引き続き、地域からのご要望に基づき、活動を継続していきたいとおもいます。



重ねて

地域住民アンケートご協力をお願い

11/20(金)
回答締切

本学園は、社会に役立つ人材を輩出するとともに、地域に親しまれる学園を目指しています。

現在、様々な地域活動を行っておりますが、地域の皆さまが期待されるニーズを知り、地域の発展に微力ながら寄与したいと考えております。

つきましては、誠に恐縮ですが、アンケートへのご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



アンケート回答フォーム

